

第12回学術大会抄録

1 Cercon[®]システム導入による新しいCAD/CAM実習の組み立て

植木 一範

明倫短期大学 歯科技工士学科

keywords : 歯科技工教育, カリキュラム, CAD/CAM, Cercon[®]

はじめに

明倫短期大学歯科技工士学科では、開学以来、歯科技工における先端分野であるCAD/CAMをカリキュラムに組み入れてきた。以来十数年が経過する中で、新しい機器やソフトウェアを導入し、先端研究や臨床での最新の動向を教授できるよう、講義および実習内容を常に見直してきた。平成24年度においては、本学にジルコニア材料が利用できる専用CAD/CAMシステムのCercon[®]（デンツプライ三金社製）が導入され、さらなるCAD/CAM実習の充実を図る取り組みを行ったので紹介する。

対象および方法

対象：平成25年度歯科技工士学科2年生30名

歯科技工3D-CAD/CAM実習（2年後期1単位）

方法：図1に示すようにCAD/CAM実習において新たにCercon[®]システムを利用するカリキュラムを組み立てて試行し、その内容とCAD/CAMシステムについて、学生にアンケート調査を行い、今後のカリキュラムのさらなる改善を検討した。

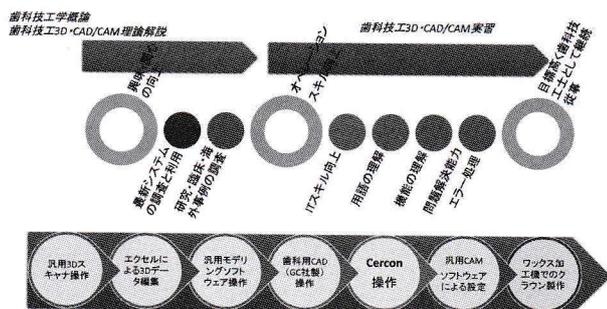


図1 明倫短期大学におけるCAD/CAM実習の新しいカリキュラムマップ

結果および考察

実習後の学生に対するアンケートの結果、学生はおおむねCAD/CAMに対する理解と関心を深め、70%がCAD/CAMを利用できそうだと、スキルにも自信を持っていた。実習内容について、マニュアル操作の多いExcelでのデータ編集や一世代前のCADは難しかったという学生が多く見られたが、操作性に優れた最新のCADやスキャナについては少なかった。一連の実習カリキュラムを終えた中で、今後のCAD/CAMについて考察させたところ、導入価格、操作の簡便さ、精度といった問題が解決されればさらに普及するだろうという意見が得られた。また、将来の歯科技工士としての仕事を考えさせたところ、CAD/CAM専門または手の技工のみを考えるのではなく、手の技工に加えて、CAD/CAMを利用しながら良い仕事をしたいと考えている学生が多いという結果が得られた。

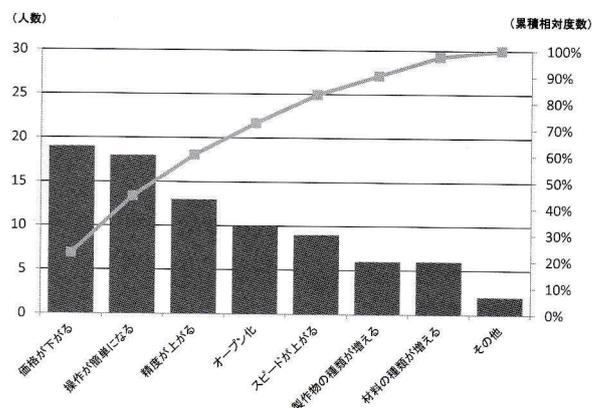


図2 CAD/CAMの改善に向けたパレート図まとめ

本学が最新かつ臨床に直結するCAD/CAMを利用して教育を行うことは、学生のみならず、歯科技工士を志す高校生たちにとっても、職業イメージを膨らませる意味でも非常に有益なことと考えられる。